



# 新着図書案内



2017年2月発行



## 『おはぎやまと学ぶ 日本のしきたり』

文具雑貨のキャラクター「おはぎやま」の成長を追いながら、相撲をはじめとする日本のしきたりを学ぶ本。歳時記、外国のしきたりも掲載する。

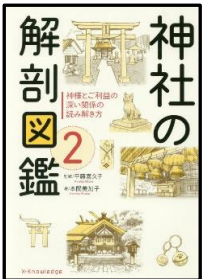
朝日新聞出版 // 編集 朝日新聞出版



## 『つながりをリノベーションする時代』

当たり前の不安を生きる若者たちはこれまでとは異なるかたちで“社会”という「つながり」を紡ぎ始めたのかもしれない。若者を中心にさまざまな場面で見え始めた「つながり」の創造的な刷新の様相を6つの領域から解き明かす。

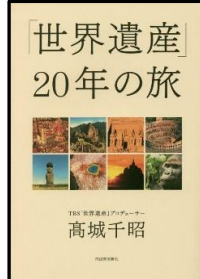
田所 承己 // 編 菅野 博史 // 編 弘文堂



## 『神社の解剖図鑑 2』

商売繁盛、恋愛、縁切りの神様はもちろんのこと、体の各パーツを守る神様から、ペットの神様まで、具体的でわがままな願いに耳を傾けてくれる神社をご利益別に紹介します。掲載神社データリスト付き。

本間 美加子 // 著 エクスナレッジ



## 『「世界遺産」20年の旅』

20年に渡り現地を体感してきたTBS「世界遺産」のプロデューサーによる世界遺産論。「世界遺産とは何か?」から、世界遺産を守るためにどうすればよいのかといった本来の意義まで、分かり易く解説する。写真も豊富に収録。

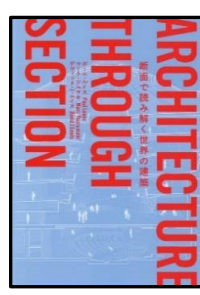
高城 千昭 // 著 河出書房新社



## 『鳥を識る』

種によっては高い知能と喜怒哀楽の感情を持つ鳥。生態や行動、言語獲得やコミュニケーションなど人間の能力とも密接につながる鳥の奥深さ・魅力を多角的に見つめ、まったく異なる進化をした鳥とヒトがなぜ似ているのかを探る。

細川 博昭 // 著 春秋社



## 『断面で読み解く世界の建築』

断面という視点が建築のデザイン・設計・実践で重要なのはなぜか。断面にはどのような種類があるのか。建築における断面を7タイプに分類し、過去100年間に竣工した著名な建物63点の事例と共に解説する。

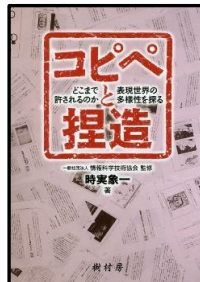
ポール ルイス // ほか著 グラフィック社



## 『帝国のオペラ』

19世紀、突如現れたワーグナーという怪物。それ以降、ドイツの音楽家たちはこの決して超えられない壁に懊悩することになる。ドイツ帝国成立期、大国へ、軍事国家へと舵を切るドイツの歴史を背景に、音楽家たちの苦闘を描く。

広瀬 大介 // 著 河出書房新社



## 『コピペと捏造』

コピペと捏造をめぐる複雑な状況を議論するために。小説、美術、音楽など、あらゆる分野にはびこるコピペとパクリのさまざまな事例を紹介しつつ、コピペと捏造の問題にどのように取り組めば良いか論考する。

時実 象一 // 著 樹村房

\*掲載しているものは新着本の一部です。新着本は随時ホームページで公開していますので、そちらもご覧下さい。  
\*紹介文はTRCマークより引用。\*書影は日外アソシエーツブックデータASPサービスを利用。または出版社より許諾を得ています。





## 『ロボットの歴史を作ったロボット100』

神話時代の人造人間といった夢物語から、個性的なロボットが活躍するSF作品、そして各国が開発するロボットまで。フィクションが描き、科学が実現してきた古代から現代までのロボットをずらりと紹介する。

アナ マトロニック // 著 日経ナショナルジオグラフィック社

## 『カリカリベーコンは どうして美味しいにおいなのか?』

ミンチはどうして口のなかでスーッとするのか? タマネギを切ると、どうして涙が出るのか? 食べ物や飲み物にまつわる奇妙で面白い話をとりあげ、それらのもとになる化学をわかりやすくシンプルに説明する。

ANDY BRUNNING // 著 化学同人

## 『貧困の現場から社会を変える』

生活保護、バッシングと差別、自立支援…。長く貧困問題の現場に関わり、さまざまな提言や制度改革に取り組んできた著者が、その実践をまとめ、世に問う。著者が行った6回のソーシャルワーク入門講座の記録をもとに書籍化。

稲葉 剛 // 著 堀之内出版

## 『骸骨考』

人は必ず骨になる。例外は、ない。イタリア、ポルトガル、フランスへの墓地めぐりの旅をし、「骸骨」との格闘を重ねた、養老流身体哲学の到達点。カラー写真も多数掲載。季刊誌『考える人』連載をもとに単行本化。

養老 孟司 // 著 新潮社

## 『犬と猫のサイエンス』

なぜ人は動物と暮らすのか。犬や猫はどのようにして人に近い存在になったのか。彼らの行動の意味を知り、その能力の秘密を解き明かし、ともに快適に暮らすための環境について考える。

日経サイエンス編集部 // 編 日経サイエンス

## 『能面の見かた』

能の全体を探りつつ、能の真髄とも言える能面をわかりやすく解説した入門書。室町～江戸初期の能面、特に神社に散在する秀れた能面を、カラー写真や舞台写真で紹介する。図説「能面の見分けかた」、能面の制作工程等も掲載。

小林 真理 // 編著 誠文堂新光社

## 『日本の橋 その物語・意匠・技術』

いろいろな出来事や小説の舞台となった橋にまつわる物語や、造形の対象として見た橋の意匠、そして構造物の側面から見た橋の技術の視点から話題を設定。これを通じて日本の文化と歴史をとらえる。

五十畑 弘 // 著 ミネルヴァ書房

## 『虫塚紀行』

虫塚、虫供養塔、虫感謝・記念碑などは、古くから人と虫と自然の強い結びつきをあらわす証し。虫関連の歌碑・句碑も含め、津々浦々の虫塚のありかや存在理由、姿・形などの現況を豊富な写真とともに紹介する。

柏田 雄三 // 著 創森社

## 『知っていますか?西洋科学者 ゆかりの地IN JAPAN PART1』

万有引力を発見したニュートン、火星観測で知られる天文学者・ローエルなど、日本全国の西洋科学者のモニュメントを訪ねながら、科学者の人物像や業績を紹介。銅像・記念碑・墓碑等一覧も収録する。

西條 敏美 // 著 恒星社厚生閣

## 『宇宙のつくり方』

歴史的な話やヘンテコな話も添えて、「宇宙のつくり方」を紹介した一冊。エネルギーがどのように物質に変化したのか、物質から星や銀河や私たちをつくり出す反応はどのような物理法則によっているのかをカラー図版で解説する。

ベン ギラランド // 著 丸善出版

\*掲載しているものは新着本の一部です。新着本は随時ホームページで公開していますので、そちらもご覧下さい。  
\*紹介文はTRCマークより引用。\*書影は日外アソシエーツブックデータASPサービスを利用。

